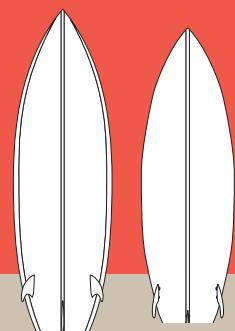
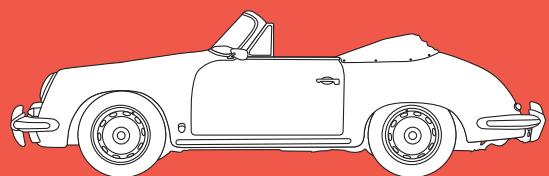


IWAMI

Shimane Pref.

ドライバーズガイドマップ



Iwami Drivers Guide Map

いつもと違う道を歩いてみる。
知らないところに寄り道してみる。
その地の人と話してみる。

そんなふうに、いつもの行動を
少しだけ変えてみると、
その地域や、場所の見え方は、
これまでとは全然違ったものになると思います。
今まで通り過ぎていた場所を、
立ち止まり、立ち寄る場所へ。

この本が、そんな「ちょっとの冒険」を、
手助けするものになれたら。と思います。

五十猛海岸

静間から五十猛へ差し掛かる国道
道9号線。山間の道が続いた後、
一気に水平線が現れる。「海だ！」
と思わず叫びたくなる
人たちも大好きな景色。（大田市
五十町）



石見(いわみ)へようこそ。

島根県西部。昔で言えば石見國、別名石州。

出雲國のお隣を指します。

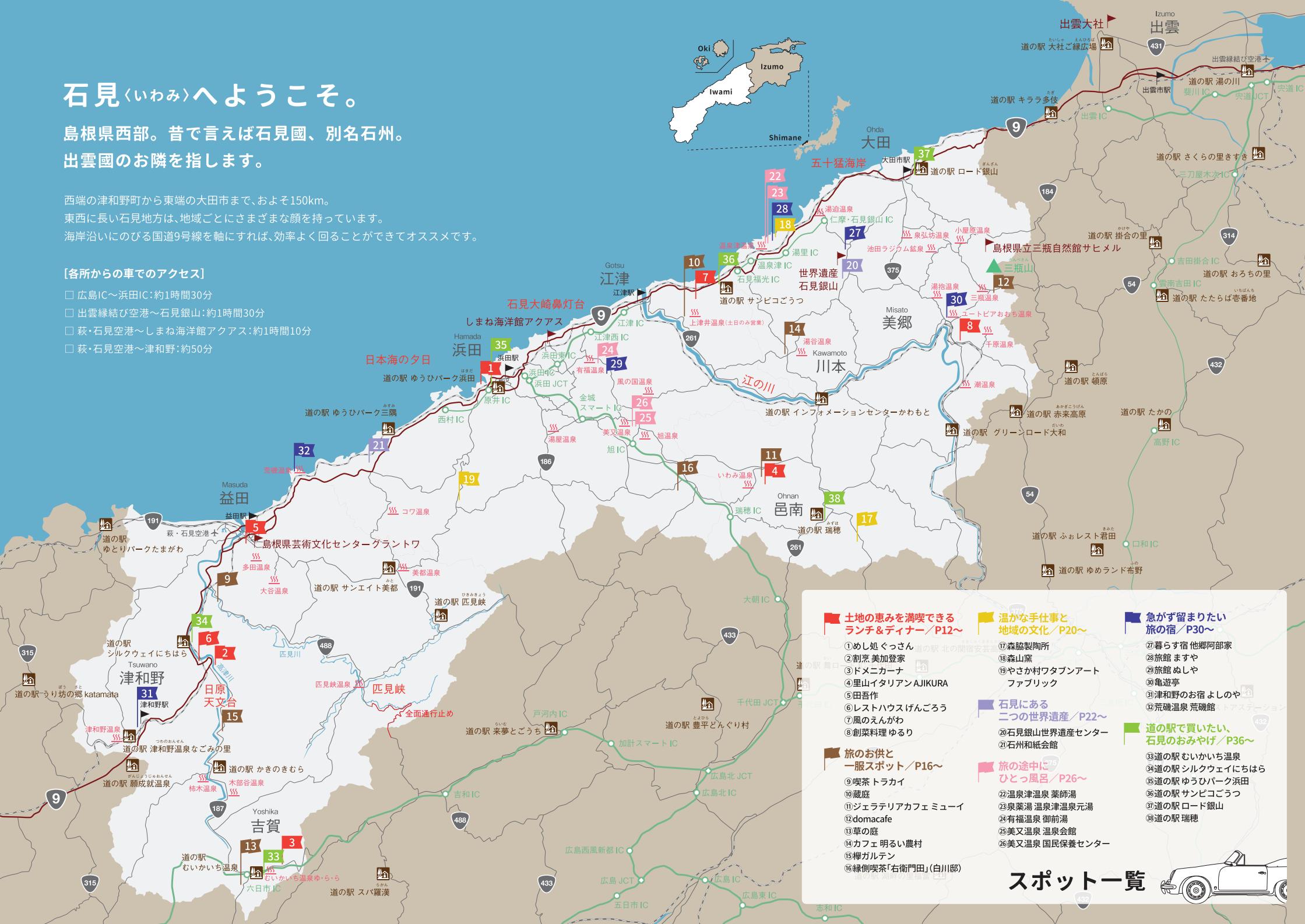
西端の津和野町から東端の大田市まで、およそ150km。

東西に長い石見地方は、地域ごとにさまざまな顔を持っています。

海岸沿いにのびる国道9号線を軸にすれば、効率よく回ることができます。

[各所からの車でのアクセス]

- 広島IC～浜田IC: 約1時間30分
- 出雲縁結び空港～石見銀山: 約1時間30分
- 萩・石見空港～しまね海洋館アクアス: 約1時間10分
- 萩・石見空港～津和野: 約50分



土地の恵みを満喫できる ランチ＆ディナー／P12～

- ①めし処 ぐっさん道の駅 北の関宿安芸高田
- ②割烹 美加登家
- ③ドミニカーナ
- ④里山イタリアン AJIKURA
- ⑤田吾作
- ⑥レストハウス げんごろう
- ⑦風のえんがわ
- ⑧創菜料理 ゆるり

旅のお供と 一服スポット／P16～

- ⑨喫茶 トラック
- ⑩蔵庭
- ⑪ジェラテリアカフェ ミューイ
- ⑫domacafe
- ⑬草の庭
- ⑭カフェ 明るい農村
- ⑮櫻ガルテン
- ⑯縁側喫茶「右衛門田」(白川郷)

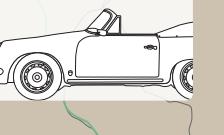
急がず留まりたい 旅の宿／P30～

- ㉗暮らす宿 他郷阿部家
- ㉙旅館 ますや
- ㉚旅館 ぬしや
- ㉛古遊亭
- ㉜津和野のお宿よしのや
- ㉝荒磯温泉 荒磯館

道の駅で買いたい、 石見のおみやげ／P36～

- ㉓道の駅 まいかいち温泉
- ㉔道の駅 シルクウェイにちはら
- ㉕道の駅 ゆうひパーク浜田
- ㉖道の駅 サンビコごうつ
- ㉗道の駅 ロード銀山
- ㉘道の駅 瑞穂

スポット一覧



Scenic spots

石見大崎鼻灯台

石見海浜公園の一角にある灯台。ここからの眺めは石見地域でも折り。眼前に広がる海岸線と丘陵は、激しい日本海のイメージを覆すほど美しい。高台からドライブで辿った道を眺めるもよし。（江津市敬川町）





匹見峡

日本一の清流高津川の支流にあたる匹見川。その浸食によつて形成された渓谷が匹見峡だ。表匹見、裏匹見エリアは川に沿つて車道が整備されており、庄巻の峡谷美ドライブを満喫できる。

(益田市匹見町)



江の川

中国地方一の大河、江の川。全長は200kmにも及び、山間を穿々と流れる姿は四季それぞれに雰囲気が変わり、目を楽しませてくれる。夏は、カヌーや釣りなど自然体験を楽しむ人で溢れかえる。(邑智郡川本町)



日本海の夕日

浜田港を見下ろす高台に位置する、道の駅ゆうひパーク浜田からの景色。真っ赤な光で町と港を包み込む夕日は、海岸から見るものとはまた違った印象を与える。思わずカメラを向けてしまう絶景。（浜田市原井町）



日原天文台

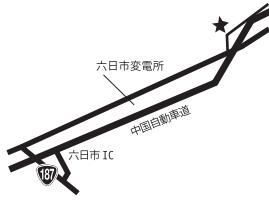
2008年「本州で一番星が見える場所」に選ばれた天文台がここにある。夜空に輝く星々を間近に見る体験は感動間違いなし。科学館が隣接し、近隣にはキャンプ場やペンションもあり家族で楽しめる。（鹿足郡津和野町）

3 手作りの石窯で
焼かれる自慢のピザ

イタリア・ナポリで出会った、
真っ赤な炎で焼かれる石窯のピ
ザに感動し、自家のログハウス
で再現。ピザ屋としてオープン
した。薄くもなく厚くもない、
絶妙の厚さの生地もこだわりの
一つ。生地の小麦やソースに使
うイタリアントマトなどは自ら
無農薬で栽培する。高津川特産
の鮎を使ったピザも開発。テラ
ス席はペット同伴でつるげる。



ドメニカーナ
鹿足郡吉賀町蔵木 1081
0856-77-0568
11:00~14:00 LO
(水・木曜定休、土・日・祝は ~16:00 LO)
ミックスピザ ¥2,000 他
www.iwami.or.jp/domenica/



里山イタリアン AJIKURA
邑智郡邑南町矢上 3123-4
0855-95-2093
ランチ 11:00~14:00 LO ディナー 18:00~20:00 LO
(水曜定休 *祝日の場合は営業/ディナーは
前日までの予約制) パスタランチ ¥1,500 (税別) 他
si-ajikura.com



Lunch & Dinner

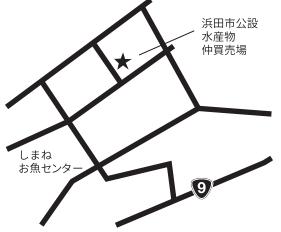
土地の恵みを満喫できるランチ & ディナー

1 ツウでにぎわう
市場の六場食堂

魚市場の真上にあり、飾り気の
ない外観と店内。一番人気のの
どぐろ炙り丼は、口に広がるの
どぐろのうまみと甘みにとろけ
そうになる。まさに絶品。特製
のだし醤油も素材の味を引き立
てる。「愛情を込めています」
という山口隆さん。この人がつ
くるなら間違いない、と思えて
しまう。魚以外のメニューも豊
富で、文句なしにうまい。



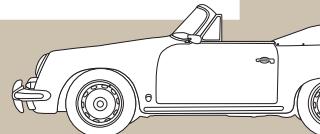
めし処 ぐっさん
浜田市原井町 3025
070-5301-3893
6:00~15:00
(土曜 10:00~15:00、金曜定休)
のどぐろ炙り丼 ¥1,500 他



2 鮎づくし料理
滋味あふれる天然鮎を求める
月々11月のシーズンには、県外
や遠く九州からも常連客が訪
れる。清流日本一で知られる高津
川のすぐそばに立つ老舗割烹。
頭からまるごと味わえるメイン
の塩焼きには、長年の勘を頼り
鮎づくしのコースを提供する。
釣り人から、色、艶、香りの揃つ
た鮎を直接仕入れ、9~10品の
鮎づくしのコースを提供する。



割烹 美加登や
鹿足郡津和野町日原 221-2
0856-74-0341
11:30~19:00 (月曜定休 *完全予約制)
鮎づくしのコース ¥8,000~¥10,000
(税・サ別)
www.sun-net.jp/~mikadoya/



ごす人もいるというのも納得。迎えます」とオーナーの多田十誠さん。ドリンク2杯目は50円引き。2階は貸し切り可で半日過ごす人もいるというのも納得。

風格ある赤瓦の古民家の中は、畳敷きで広々とした空間。テーブルと椅子、ちゃぶ台など好きな席を選ぶことができる。地元の有機野菜を使った手作りランチやデザート、ドリンクも体にやさしいものばかり。「長居歓迎です」とオーナーの多田十誠さん。ドリンク2杯目は50円引き。

7 体と心にやさしい 古民家カフェ



風のえんがわ

江津市後地町 2398

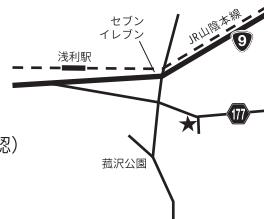
0855-57-0522

10:30~17:00

(月曜定休、日曜は不定期営業 *サイトで確認)

手づくりチャイ ¥550 他

kazenoengawa.jimdo.com



時化などで魚が手に入らない日は、予約客以外は断っている。女将の岩崎治代さんは「美味しいものしか出さたくない。日本海のきまぐれが相手だから仕方ないのよ」と笑う。人気は4種類の新鮮な刺身を使った刺身定食や海鮮丼。プリプリで歯ごたえ十分。かみしめると海の恵みが口に広がる。確実に味わえる予約がオススメ。

5 味と鮮度に こだわり抜く海鮮処



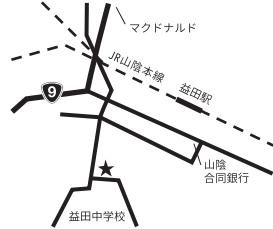
田吾作

益田市赤城町 10-3

0856-22-3022

12:00~0:00 (不定休)
海鮮丼 ¥1,650 他

tagosaku1966.jp



周辺の山で年間100頭の天然猪を仕留めるという、獵師歴45年のベテラン水津昭さん。きちんと処理された猪肉は、驚くほど臭みがなく、ヘルシーだ。調理して振る舞うのは妻の幾枝さん。少しの味噌と野菜の水分で煮込むぼたん鍋は、猪肉のうまみが存分に味わえ、猪のイメージが覆される。持ち帰り用の猪肉も販売。

6 絶品ジビエ料理 ベテラン獵師の ジビエ料理



8 探し求めた理想郷で 開店した農家レストラン

地元の無農薬野菜にこだわり、化学調味料に頼らない「おふくろの味」を追求する農家レストラン。オーナーの前田さんご夫婦が、この地にお店を構えて11年。素材の持ち味を活かした料理は、県外からも多くのファンを惹きつける。予約をすれば宿泊也可能。ここまで来たなら、とことん田舎暮らしを満喫するもよし。ゆったり流れの時間を楽しみたい。



創菜料理 ゆるり

邑智郡美郷町上川戸 314

0855-75-0607

11:30~14:00 17:30~21:00
(不定休 *要予約)

夜の会席料理 ¥3,710~ 他
yururi.eek.jp

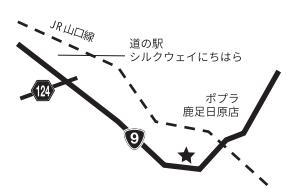


レストハウス げんごろう

鹿足郡津和野町河村 543-4

0856-74-0247

11:00~15:00 (木曜定休)
猪鍋（ごはん付）¥1,250 他



Lunch & Dinner

**11 クセになる
濃厚ソフトクリーム**

100%自然放牧牛乳を使った無添加ソフトクリームが看板商品。濃厚なのに、後味さっぱり。自然放牧のため、毎日微妙に牛乳の味、色、香りは変わる。そのときしか味わえない旬の味は、やみつきになる。8種類のジエラートのほか、プリンなどのおやげのスイーツも充実。持ち帰りができるオリジナルの珈琲はドライブのお供にぴったり。



ジェラテリアカフェ ミュイー
邑智郡邑南町矢上 3119-3
0855-95-0118
10:30~18:00 (不定休、夏季延長営業あり)
ソフトクリーム ¥360 (税込み) 他
sixth-produce.co.jp



**9 時を忘れる
田園カフェで一休み**

看板を頼りに土手の道を進むと、田園風景に溶け込んだ一軒家が現れる。石川剛さん、智子さん夫妻が高津川流域材で建てた理想の空間。大きな窓に映る景色は、季節や座る場所によって異なる表情を見せ、カウンター席でもテーブル席でも、時間が経つのを忘れて安らげる。自家製の野菜や果樹を使った月替わりのランチが人気。



喫茶 トライカイ
益田市隅村町 497-1
0856-25-1430
11:30~17:00 (木・金・土曜営業)
コーヒー ¥350 他
maro-v.jp/~tralai/



domacafe
大田市三瓶町志学 349
0854-83-3235
12:00~20:00 (金・土・日曜・不定期月曜)
営業 *12月中旬~4月中旬は冬季休業)
ベーグルサンドプレート ¥950 他
blog.domacafe.com



**12 移住夫婦が紡ぐ
古くて新しい異空間**

東京からリーターンしてきた岩谷俊輔さん、かなえさん夫婦が営むカフェ。築105年の診療所が、5年がかりのリノベーションで素敵に生まれ変わった。重厚感のあるソファや机は、こ近所からのいただき物。グランドピアノや跳び箱も違和感なくなじんでいる。手作りのベーグルが好評。2階のギャラリーも気軽に使って、とかなえさん。



蔵庭

江津市松川町下河戸 1-1 0855-57-0100
kuraniwa.jp
[kuraniwa]
金曜 11:00~18:00
土・日曜・祝日 8:00~18:00
(月~木曜定休 *冬季休業あり)
玄米プレートランチ ¥1,200 他
[tsumugi]
10:00~18:00
(火・水曜定休)
ベーグルシナモン
ドーナツ ¥180 他

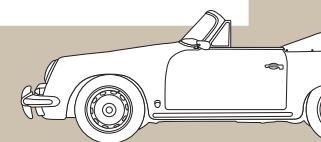
**10 地元野菜と国産小麦にこだわる
ベジタブルカフェ & ベーカリー**

マクロビオティック師範の資格をもつ戸田さんが営むカフェ「kuraniwa」と、三次の人気パノ屋「mugimugi」で10年修行した峰士さんによるベーカリー「tsumugi」。江ノ川にほど近く、庭園をもつ古邸を蘇らせた美しい空間で、カラダに優しい食事、丹念に焼き上げられたパンを目の当たりに、ドライブがてら遠くからも客が訪れる。



Cafes & Snacks

旅のお供と一服スポット



**木の温かみに触れながら
ゆったりと過ごす**

日本一の清流高津川流域の木と自然素材を使った木の家を提案する(株)リンクンが運営する「木の温かみに触れながらゆったりと過ごす」。店内の本棚から気に入る一冊を選んで、音楽を聞きながらページをめくる。豊かな休日の過ごし方がここにある。



櫻ガルテン

鹿足郡吉賀町柿木村下須 674-1
0856-79-2600 (平日: 0856-79-2535)
11:00～17:00 (土・日曜営業)
ケーキセット ¥800 他
keyakig.exblog.jp



手を伸ばしそうになる。

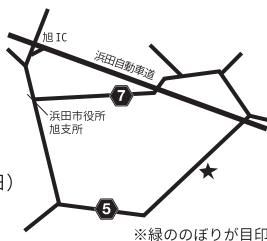
温かい笑顔で白川さんご夫婦が迎えてくれる。現在、この地域で2軒のお宅が自宅の縁側を開放し、週末に客人を招いている。これが縁側喫茶だ。「この地域の宝は棚田と古民家。子どもたちに残したい」と英隆さんは大好きな縁側からの風景に目を移す。デザートは則子さんのお手製。自家製米粉のケーキは上品な甘さで、ついつい2つ目に手を伸ばしそうになる。

田舎ツーリズムで 石見暮らしを体験する

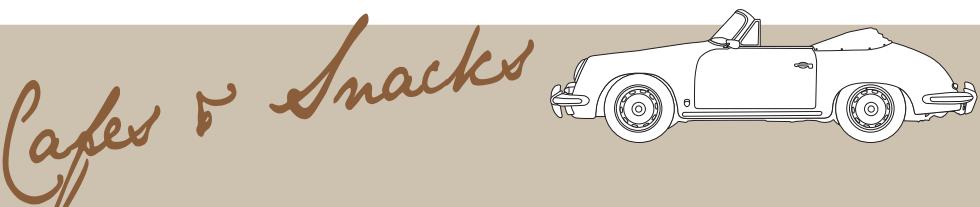


縁側喫茶「右衛門田」(白川郷)

浜田市旭町都川 2159
0855-47-0423
9:00～16:00 (5月～11月 第一・第三日曜開放日)
田舎ツーリズム体験料 ¥500
(*コーヒー、ケーキ付)

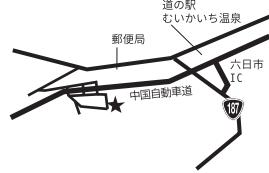


田舎ツーリズム：農山漁村で、地元の人々との交流を通して、農林漁業体験やその地域の自然や文化、暮らしに触れるプログラム。



《とにかく自然に近く》が コンセプト

オープンしてから19年。地産地消をテーマに始めたお店。子どもが生まれてから「食」に対する意識が一層強くなり、有機野菜や無添加にこだわったメニューを提供していると、オーナーの花崎さん。店を運営しながら、教育の推進も地域で行っている。店内の窓からは裏庭が見え季節の移り変わりが来る度の楽しみ森の中でゆったりと過ごしているかのような雰囲気が心地よい。



草の庭

鹿足郡吉賀町沢田 20
0856-77-1536
10:00～17:00 (金・土・日曜営業)
クラブハウスサンド (スープ付)
¥1,000 他
kusanonihwa.net

田園風景を眺めながら車を走らせてると小さな集落が見えてくる。その真ん中に位置する古民家力フェ。実は昭和時代に建てられた郵便局を、町の人たち自らが改装した手作りのお店。家具も近隣の木を切り出してつくられていて、温かさが何とも心地よい。スタッフとの会話も樂しみの一。情報誌に載らない近隣情報を聞いて、次の行き先を決めてみるのもおもしろい。



カフェ 明るい農村

邑智郡川本町大字南佐木 177-3
0855-74-0870
11:00～17:00 (月・水・木曜定休)
ホットコーヒー ¥360 他
a-nouson.eek.jp



まちの人々に愛される 憩いの場

民芸運動を進めた河井寛次郎の内弟子、森山雅夫さん。「器は使われてこそ」。この40年、美しさと使いやすさを追い求める情熱に変わりはない。地元の土と釉薬で作る独特の瑠璃色と黄緑色。人気はコーヒーカップで、口触りの良さ、持ちやすさは感動モノ。「いつ来てもうつもいいでですよ」と微笑む雅夫さん、美代恵さん夫妻に、また会いたくなる。

18 匠の技と情熱が生み出す「日用の美」



森山窯
大田市温泉津町温泉津イ 3-2
0855-65-2420
9:00～18:00
コーヒーカップ ¥2,500（税別）他



やさか村ワタブンアートファブリック
浜田市弥栄町木都賀イ 514-1
0855-48-2436
9:00～16:00（土・日・祝日休）
手織り体験 ¥3,500



19 大人の秘密基地で手織り体験

そっけない外観から一歩入ると、すらりと並ぶ機織り機。大人の秘密基地に迷い込んだようでドキドキ、ワクワク。京都の伝統工芸・西陣の技術を生かした天然シルク100%のタオル「ギビン肌友だち」をつくる機織り工場。保湿力たっぷりのタオルは大人気。予約すれば手織り体験ができ、3時間ほどでランチョンマットが完成する。思い出に持ち帰りたい。



森脇製陶所
邑智郡邑南町岩屋 1273-4
0855-83-2177
訪問前に電話連絡必要
マグ ¥3,000（税別）他
morisei.net

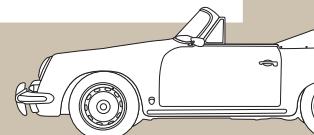


17 日常以上、非日常未満の不思議な空間

展示場には、呼吸するように器が自然と並び、それその佇まいがなんとも美しい。土も釉薬も島根のものが使われている。素材と真摯に向き合う森脇さんの誠実さが、柔らかい風合いを生み出す。自然に囲まれた工房で、お話を聞きながら器を手にすると、森脇さんの幸せな暮らしの一部をお裾分けしてもらう気分になれる。時間をとつてじっくり訪れたい。

Arts and crafts

温かな手仕事と地域の文化





松本賢一著「南蛮紅毛日本地図集成」(鹿島出版会刊)島根県教育委員会蔵

“石見にある二つの世界遺産”

知るほどに味わい深い、世界遺産のきらめき
—その1—

石見銀山

かつて銀を採掘していた坑道跡「龍源寺間歩」を歩く。暗く、ひんやりとした空気。手掘りという跡が、壁面から生々しく迫ってくる。大小合わせて6000を超える言われる石見銀山の間歩の中には、金長900メートルに及ぶものもあるようだ。確かに、「地味」「わかりにくい」といっていい。しかし、これだけで、石見銀山の価値が伝えられるわけではない。そう、実は、石見銀山は「地味」「わかりにくい」と一部で言われてきた世界遺産であるのだった。

古来から行われてきた精錬技術である灰吹法を取り入れることで、良質な銀を大量に生産することができた。16世紀の時に成功した石見銀山。16世紀の大航海時代、世界に流通する約3分の1を産出した日本の銀の大部分を担つたとされ、こうした金銀や香辛料を求めてヨーロッパ人が東アジアの貿易に参入、東西の異なる文明の交流が生まれた。さらに、石見銀山と周辺では、森林資源をしっかりと管理しながら製錬に必要な木材燃料を供給したことから、豊かな森林が残されているのも見逃せない。鉱山遺跡と自然環境が一体となって文化的景観を

形成するのは世界的に類を見ないとして、世界遺産にふさわしいと評価を受けている。

こうした石見銀山の価値や歴史を詳しく知るには、「石見銀山ガイドの会」によるガイドツアーを利用するのがオススメ。また、「石見銀山世界遺産センター」でも、わかりやすく解説されている。ただ何気なく見て歩くだけでは伝わりにくい。より深く学ぶことで、かつて世界を駆け巡った銀のきらめきを想像し、遺産の価値を味わいながら、楽しむことができる。

鉱山町として栄えた大森地区、銀の積み出し港だった温泉津も世界遺産の一部。両地区とも、古い建物をリノベーションしたカフェなどが建ち並び、散策にぴったりだ。

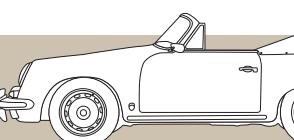
石見銀山ガイドの会の詳細や連絡先は以下で確認できる。予約なしで参加できるワンロインツアーのほか、事前予約も可能。
石見銀山ガイドの会
0854-89-0706
iwamiginzan-guide.jp



大田市教育委員会 提供

石見銀山世界遺産センター

大田市大森町1 1597-3
0854-89-0183
8:30~17:30 (展示室は9:00~17:00 最終受付16:30、休館:毎月最終火曜/年末年始)
入館料:一般 ¥300 小中生 ¥150
※20名以上の団体の場合、一般 ¥250 小中生 ¥100
ginzan.city.ohda.lg.jp



World heritages



“石見にある二つの世界遺産”

未来に受け継ぎたい、石見の、世界の宝
—その2—

石州半紙

せきしゅうはんし。そつと發音してみる。なんて、いとおしい響きだろう。石州＝石見地方の風土が育み、職人の心と技が受け継いできた「宝」。2009年、ユネスコ無形文化遺産に選ばれ、2014年には和紙・日本の手漉和紙技術として再登録されるなど、人類共通の遺産として、高い評価を受けている。

和紙の原料となる良質な楮と水質に恵まれた石見の地。手漉き和紙の技法が伝わったのは、奈良時代とされる。約1300年もの時を経ても色褪せない、昔ながらの技術と技法。現代も地元で栽培した楮と三桠と、野生の雁皮、この3つの植物の纖維を原料に、職人が一枚一枚「流し漉き」という製法で、手づくりしている。その製法は、浜田市三隅町を中心住んでいた職人の手で一貫して保持され、石州半紙技術者が製造する石州半紙は、1969年に国の重要無形文化財の指定も受けている。ただ、かつては10人いた石州半紙技術者会の会員も、現在は4人にまで減った。その一人、工房「石州和紙久保田」を営む

久保田彰さんの「今後の石州の伝承者育成に人生を捧げる」という言葉に、胸が熱くなる。浜田市三隅町にある石州和紙の会館は、日本海にほど近い場所に立つ。全国でも、海の見える紙漉きの里は、ここだけという。石州半紙を含めた石州和紙の技術・技法を研修し、後継者を育成する拠点、そして、情報発信や展示の拠点として、2008年にオーブンした。施設内の工房で石州和紙製造の全行程の作業ができる設備があり、紙漉きを体験することができるほか、ショップでは和紙製品を販売している。長期保存に耐えるため、美術工芸や書籍用に重宝されたきた石州半紙。障子紙、書道用紙はもちろん、封筒、便せん、葉書、名刺など、普段使いできる多彩な製品が並べられている。

独特の光沢に加え、黄味がかった色合いが、時間とともに、白味を増していく。そして、共存する繊細さと力強さ。石州半紙ならではの使い心地がある。ぜひ足を運んで、体感してほしい。



石州和紙会館

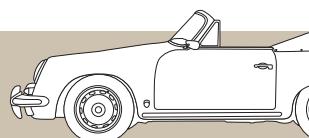
浜田市三隅町古市場 589

0855-32-4170

9:00～17:00（休館：月曜 *祝日の場合は開館／翌平日休館、年末年始）

入館料：無料 ※20名以上の団体の場合、要連絡手すき和紙体験：はがき判（2枚）￥525～

www.sekishu.jp

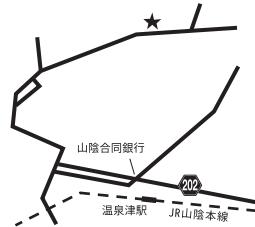


23
受け継がれる
「命を延ぶる薬」

発見されてから1300年の歴史を持つ元湯。古くから知られた湯治場で、今でも多くの人々が疲れを癒やしに訪れる。「必要とされるから残る。これからも大切にしたい」とい。当主の伊賀賛介さんの言葉には、湯治文化を受け継いできた自負とともに、自然の恵みに対する感謝の思いが表れている。自然湧出する約50°Cの源泉は、そのまま黄金に変色した湯船に注がれる。自分の体の手入れに訪れたい。



泉薬湯 温泉津温泉元湯
大田市温泉津町温泉津口 208-1
0855-65-2052
8:00~20:00 (臨時休業あり)
入浴料: ¥ 370



Hot springs



温泉津温泉 薬師湯

大田市温泉津町温泉津 7

0855-65-4894

6:00~21:00 (平日は 8:00~ 無休)

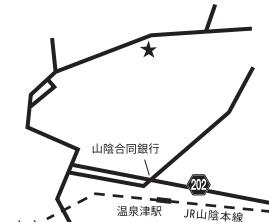
入浴料: 大人 ¥ 350 子ども ¥ 200 (1歳~小学6年)

*貸切湯 (40分間) は、大人 ¥ 650、子ども ¥ 300 (1歳~小学6年)

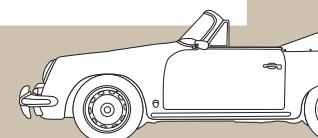
yunotsu.com

22
大正ロマンへ
タイムスリップ

この温泉街は、国的重要伝統的建造物群(町並み保存)に指定されているが、その中でもひときわを引くレトロ調の建物が薬師湯だ。日本温泉協会が認める最高評価の「オール5」を受けた薬効豊かな天然温泉で、山陰では唯一。2階のラウンジはモダンな雰囲気。屋上から眺める赤瓦が連なる町並みは素晴らしい。湯上がりにのんびりくつろぎたい。木造洋館のカフェも重厚な雰囲気が抜群。



旅の途中にひとつ風呂





《美又温泉》
ひなびた秘湯の
風情に誘われて

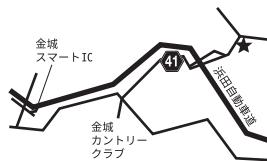
湯上がりのお肌は、つるつる、すべすべ。石鹼が残ってる?と思ってしまうほど、ぬめりのある独特のお湯。川沿いのひなびた温泉街は、秘湯の風情が漂う。地元の人々が通うこじんまりとした素朴な温泉会館と、展望風呂からのリバービューが自慢の「国民保養センター」があり、気分によって使い分けたい。



25

温泉会館

浜田市金城町追原 11
0855-42-1686
8:00~21:30 (第二・第四月曜休館、
土・日・祝は 6:00~21:30)
入浴料：¥ 250



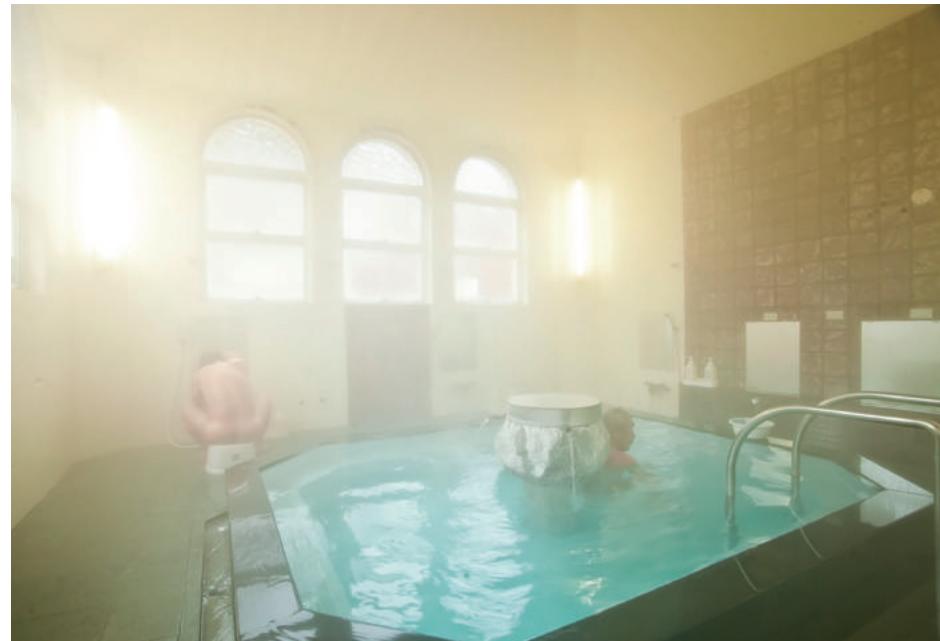
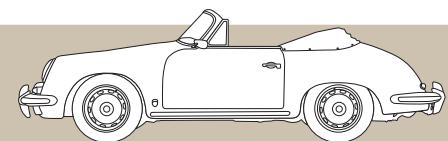
26

国民保養センター

浜田市金城町追原 32-1
0855-42-0353
10:00~19:30 (水曜定休)
入浴料：¥ 500
mimataonsen.jp



Hot springs



御前湯

江津市有福温泉町 710
0855-56-3353
7:00~21:30 (不定休)
入浴料：¥ 400
arifuku.net



24

《有福温泉》
レトロが香る
極上の美肌湯

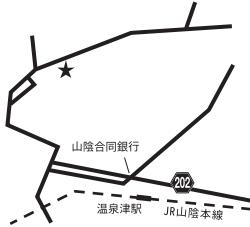
1360年前に開湯し、美肌の湯として伝わる。急な階段を上った先に佇む、昭和初期のレトロな共同湯が「御前湯」。浴室は天井が高く解放感があり、大きな窓から差し込む光がやわらかく反射する。無色透明のお湯は、贅沢な源泉掛け流し。地元の人にあったまっていく声をかけられ、気分もほっこり。

昭和の各時代の部屋が残る木造
3階建て。毎週土曜夜に近くの
神社である石見神楽を観るのも
温泉津ならではの楽しみ。

28 「料理旅館」のプライドが 伝わる美食の宿



旅館 ますや
大田市温泉津町温泉津口 32
0855-65-2515
宿泊料：¥10,950～(一泊二食付)
ryokan-masuya.com



Accommodations

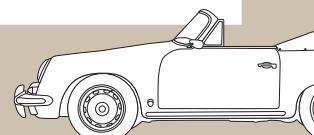


暮らす宿 他郷阿部家
大田市大森町八 159-1
0854-89-0022
宿泊料：¥25,920 (一泊二食付)
takyo-abeke.jp

オーナーの松場登美さんは、「ここで暮らしながら、ひとときを共に暮らすようななおもてなしで客人を迎えていた。掃除の行き届いた館内の空気は、実に清々しい。家具はほとんどが譲り受けで修理したもの。命が再び吹き込まれた道具たちは、胸をはって「使ってください」と言わんばかりの存在感だ。多くのリピーターが通う、まさに「ここにしかない」場所。



急がず留まりたい旅の宿



27 旅先で家族のように 迎えられる宿



アイ企画 提供

“地域に根づく芸能”

神事であり娯楽であり

石見神楽

お囃子が聞こえると自然と人が集まつてくる。石見に暮らす人達にとって、神楽は日常にとても近い存在だ。

謡曲を神能化した出雲地域の佐陀神能（ユネスコの無形文化遺産に指定）が石見地方にも伝わったことが、石見神楽のはじまりとされている。「神楽」、かつては神職による神事だったが、民衆の娯楽として演劇化され、土地の人々の手で今に受け継がれてきた。

中でも石見地方の海辺の地域で舞われるものは、他にないテンポよいリズムとダイナミックな所作が特徴的。舞手が身に付ける衣裳は豪華絢爛。鬼や大蛇は火だつて吹く。子どもたちにとっては鬼を退治する神方よりも、退治される鬼のほうがむしろ人気のようだ。いずれにせよ、目の前にいる舞手は何にも勝る人気作だ。

ヒーローで、神楽を続けるために地元で働いているという舞手も少なくない。とにかく見ていて「楽しい」と思う神楽は全国的にも珍しい。

各地で豊漁を感謝する秋祭りでは、神樂のお囃子がど

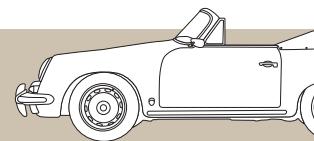
この地域でも夜通し町に響き渡る。それを目当てに、地元の人たちが毛布持参で神社へ向かう姿はこの土地の風物詩。子どもたちの口癖は「どんちっち」。お囃子がそんなふうに聞こえるは、まさにこのお囃子なのだと確信するほど、石見の人の暮らしへ「神楽」は染みこんでいる。

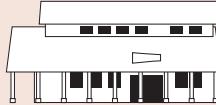
県外から多くの神楽ファンが訪れるようになり、今では、様々な催し物や祝い事など、いたるところで観られるようになった。しかし、醍醐味を味わうなら、間違いなく前述した秋の奉納神楽がおすすめ。神社の境内に赴いて、地域の人に混ざりながら見る神楽はなんとも口一杯感満載。これ以上の石見の夜はないだろう。

＊＊＊
上演情報は以下で確認することができます。また、演目解説や神楽にまつわる伝統技術の紹介など、石見神楽を一層楽しむためのヒントも満載。



all-iwami.com/contents/kagura/yotei/

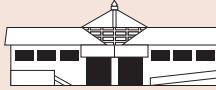




石見地域に多く見られる赤瓦が特徴的な道の駅。産直コーナーの三彦市は、海・山・川とバラエティに富んだ自然の恵みが盛りだくさん。レストラン、ガソリンスタンド、コンビニエンスストアも隣接。ドライバーのオアシスとなっている。

道の駅 サンピコごうつ

江津市後地町 995-1
0855-55-3151
9:00～18:30（定休日：木曜、年始）



お腹をすかせて寄りたい道の駅。食事処では、郷土料理の箱寿司や手打ちそばがオススメ。併設のぎんざん市場には新鮮な地元の野菜が並ぶ。世界遺産石見銀山を散策した後には、ここで買い物を楽しみたい。

道の駅 ロード銀山

大田市久手町刺鹿 1945-1
0854-82-1991
9:00～19:00
*レストラン 11:00～17:00（定休日：水曜）



広島方面からの玄関口に位置する道の駅。産直市は品揃え豊富で、地元でとれる新鮮な農作物や特産品が400点以上並ぶ。年間200頭しか育てられていない石見和牛を贅沢に使ったお弁当も人気商品（要予約）。館内に流れる方言アナウンスが、買い物を楽しくさせてくれる。

道の駅 瑞穂

邑智郡邑南町下田所 260-3
0855-83-1112
7:00～18:00
*産直市みずほ 9:00～18:00 レストラン 11:00～18:00（定休日：道の駅は1/1、産直市は1/1～2、レストランは火曜）

休憩だけじゃ
もつたらない。

野菜、魚、お菓子に民芸品。その土地のものにたくさん出会える道の駅。まるで凝縮された町のよう。ここが旅の目的地になってしまふくらい楽しみが待ち受けている。



桑の実ジャム／桜江町桑茶生産組合
かつて養蚕業が盛んだったことから、今でも桑畠が広がる桜江町。貴重な自然栽培の桑の実が使われている、すっきりした甘さの手作りジャム。
¥734（税込み）⑩



岩のり／黒松自治区

白浜が美しい黒松海岸。付近の岩場はミネラルの塊で、海藻もよく育つ。冬の時期しか出回らない超レア物。
¥1,400（税込み）⑩



サバーニャ／岡富商店

郷土食である鮒の塩蔵をバーニャカウダ風にアレンジ。野菜やパンにつけてよし、調味料としてパスタなど様々な料理にも使える。¥540（税込み）⑪



箱寿司／ロード銀山

祝い事には欠かせない箱寿司。と言しながら、地元の人はしようと食べている。彩り豊かで目も楽しませてくれる。¥450（税込み）⑫



はちみつ／宇津田養蜂場

周囲を囲む山林から運ばれる花蜜。加熱処理されていないのは純粋な蜂蜜の証拠。栄養分も香りも失われていない、正に本物。¥1,543（税込み）⑬



もろみみそ／垣崎醤油
島根は発酵食品のメッカ。まる二日かけて作る麹に加える濃口生醤油は、1年半ねかせたもの。三温糖を加えた、やさしい味が特徴的。
¥360（税込み）⑭

紅そば／サジキアグリサービス
全国でも珍しい紅そば。開花シーズンは畑一面がピンク色に染まる。コシは強いが、のどごし抜群。少量生産の希少品。¥564（税込み）⑯



ベビィしいたけびくるす／柿の里
小さいうちに手摘み収穫された椎茸のピクルス。肉厚で風味も豊かな上に、甘酸っぱいのが食欲をそそる。ビールのお供に。¥510（税込み）⑯



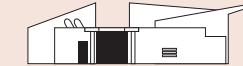
栗羊羹／城下町の小さな農家レストランちしゃの木
栗あんにきざみ栗を散りばめた贅沢な純栗ようかん。栗の香りがなんとも香ばしく、甘さも控えめ。津和野は栗の産地として有名。
¥864（税込み）⑯



鮎うるか／佐伯商店
鮎の内臓を使ったいわゆる塩辛。鮎独特の香りが残る。内臓だけで作る苦うるか、白子で作る白うるか、卵で作る子うるかなど種類も豊富。
¥1,728（税込み）～⑯



ふぐの味醂干し／米原商店
新鮮な魚の旨味と長年変わらぬ伝統の味がやみつきになる。酒の肴にはもちろんのこと、炊込みご飯の具材としても良し。
¥760（税込み）⑯



温泉や宿泊施設もあるゴージャ斯な道の駅。開放的な露天風呂は一浴の価値あり。併設の産直物産館やくろには、有機農業が盛んな周辺地域の新鮮野菜や加工品がずらりと並ぶ。

道の駅 むいかいち温泉

鹿足郡吉賀町有飯 238-2
0856-77-3001
温泉 6:30～8:30 10:00～22:00
*産直物産館やくろ 8:30～17:30
レストラン 11:00～14:00 LO / 17:30～20:00 LO
(定休日：第二水曜 *2月と9月に特別休館あり)



水質日本一の清流、高津川沿いにある道の駅。隣接する産直市場は、100軒を超える地元農家さんが、年中無休で地元野菜を販売。駅の裏は公園になっていて、夏には川遊びやカヌー、鮎釣り、キャンプも楽しめる。

道の駅 シルクウェイにちはら

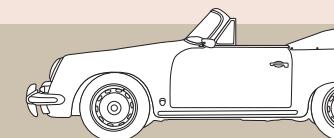
鹿足郡津和野町池村 1997-4
0856-74-2045
8:00～19:00（年中無休）



浜田の町並みを一望できる高台にある道の駅。ここから見る夕日はまさに絶景。さすが、石見神楽のお膝元。第二日曜には「石見神楽」の公演が開催されていて、インフォメーションセンターでは、周辺の石見神楽公演情報もわかる。

道の駅 ゆうひパーク浜田

浜田市原井町 1203-1
0855-23-8000
9:00～19:00（年中無休）

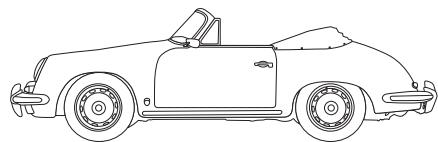


道の駅で買いたい、石見のおみやげ

Souvenirs

IWAMI
Shimane Pref.
ドライバーズ
ガイドマップ

企画	II 濱大紀 [SHIMANE PROMOTION inc.]
文	田中輝美
アートディレクション	洪 靖賢 [MASUDA KOBORI inc.]
デザイン	桑原宏幸 [MASUDA KOBORI inc.]
	森畠慶子 [MASUDA KOBORI inc.]
	八谷嘉之 [MASUDA KOBORI inc.]
写真	伊東昌信 [伊東写真事務所]
発行元	石見観光振興協議会



《百聞は一見に如かず》
《百聞は一體験に如かず》

この土地を実際に訪れた時には、
冊子では伝えきれない魅力を存分に
感じていただけるものと確信しています。

どんな歴史が、どんな風土が、どんな人が、
この「景色」をつくり上げているのか。
本誌の制作は、石見の土地にある
「景色」を紐解く作業でした。
まさにその土地や人がつくり出す美しい。

食、工芸、伝統、町並み、…

それらが織りなす「景色」は、

まさにその土地や人がつくり出す美しい。